

会 議 議 事 録

1 会議名	令和5年度 長岡市公立学校通学区域審議会
2 開催日時	令和6年3月11日(月) 午前10時から午前11時30分
3 開催場所	さいわいプラザ 6階 大会議室
4 出席者	<p>(委員)</p> <p>関委員 河田委員 農原委員 佐藤(由)委員 高橋委員 長谷川委員 丹羽委員 内藤委員 佐藤(信)委員 丸山委員 橋本委員 井関委員 小林委員 松井委員 五十嵐委員 北原委員 阿部委員 佐藤(義)委員 三角委員 上村委員 西本委員 永井委員</p> <p>(事務局)</p> <p>竹内教育部長 青木学務課長 長谷川学務課長補佐 五十嵐学務課学事係長</p>
5 欠席者	田村委員 安藤委員 河上委員 小熊委員 宇木委員 菊地委員
6 議 題	<p>(1) 委員長、副委員長の選任について</p> <p>(2) 報告事項</p> <p>① 通学区域内の地番の修正について</p> <p>② 教育環境を考える保護者懇談会及び他の小規模校の動きについて</p>
7 審議結果の概要	<p>委員長に中之島中学校区の小林委員、副委員長に栖吉中学校区安藤委員と大島中学校区の丸山委員を互選により選出。</p> <p>報告事項について、資料に基づき説明した。</p>
8 審議の内容	<p>1 開会</p> <p>2 開会あいさつ</p> <p>3 委員自己紹介 事務局自己紹介</p> <p>4 議題</p> <p>(1) 委員長、副委員長の選任について</p> <p>通学区域審議会規則第4条の規定に基づき、役員の選出を行う。役員は、委員長1名、副委員長2名を委員の皆様の互選により選出させていただく。委員長、副委員長の選出について、皆様から推薦等はないか。特になければ、事務局に腹案がある。提案させていただいてもよいか。</p>

<p>学務課長補佐</p>	<p style="text-align: center;">－異議なし－</p> <p>中之島中学校区の小林委員に委員長を、栖吉中学校区の安藤委員と大島中学校区の丸山委員に副委員長をお願いしたいと思うが皆様いかがか。</p>
<p>委員長</p>	<p style="text-align: center;">－異議なし－</p> <p>これ以降の議事の進行は、小林委員長から願います。</p>
<p>学務課長</p>	<p>議題（2）報告事項①「通学区域内の地番の修正について」事務局から説明をお願いしたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>（資料No. 1-1～1-3 に基づき説明）</p> <p>ただいまの説明について、ご質問やご意見があればお願いしたい。</p>
<p>委員長</p>	<p style="text-align: center;">－特になし－</p> <p>続いて、報告事項②「教育環境を考える保護者懇談会及び他の小規模校の動きについて」事務局から説明をお願いしたい。</p>
<p>学務課長</p>	<p>（資料No.2-1, 2-2 に基づき説明）</p>
<p>委員長</p>	<p>ただいまの説明について、質問や意見があればお願いしたい。</p>
<p>委員</p>	<p>上塩小は令和5年4月1日に統合し、教員の異動も手厚くしていただいた。また、統合1年前から交流授業を行っていただいている。当初、保護者や地域は、統廃合については、後ろ向きの考え方であったが、私自身の調査で、上塩小に入学予定の未就学児の保護者に、親の就労の都合で入学を希望する学校の調査を5年間行った。半数以上の保護者が、栃尾東小に通わせたいという希望で、今後の推移よりも少ない人数が入学する状況になっていた。令和7年4月1日に統合を決めた下塩小についても、母校を無くしたくないという地域の方々の考えは十分にわかるが、耐震化や老朽化の問題もありプールはすでに埋められ、水泳授業は栃尾東小で行っているため、児童同士の交流はなされているということを十分に地域の方々に説明し、統合について理解をいただいた。学校評議協議会の方でもそういう話をさせていただいてお</p>

	<p>り、下塩小の令和6年度は、児童の交流授業中心に1年を通して活動することになっている。また、スクールバスに関しては、全く問題なく運行できるように感じている。しかしながら、統合やむ無しといってもやはり蒸し返すような地域の方も中にはいて、蒸し返されてもどうすることもできないので、どうか理解をいただきたいと申し上げた。ここの地域には、認定子ども園が1園あるが、ここの園は積極的に学校行事に参加していたので、園の先生方も下塩小に訪れて、顔つなぎ役となり、園児同士の繋がりを持っていこうという活動も令和5年度から始めている。その後の中学校への部分も含めて、将来的に言えば、子どもの人口減少も著しいので、さらに小・中学校の統廃合を考えて地域の中で話し合いが持たれていることも併せて報告させていただく。</p>
委員長	<p>今、話のあった内容について、事務局から何かあるか。</p>
学務課長	<p>私どもも学校や地域へ何回か伺って、様々な方から意見聞いてきた。佐藤委員からは、そこでも聞いていないような貴重な話を聞かせいただき大変ありがたい。今後、栃尾地域全体に少子化が進むという方向性も見えてきているので、また今後も貴重な意見をいただけたらと思っている。</p>
委員	<p>日吉小と宮本小で懇談会の世帯出席率が非常に低い。開催の時間や開催場所はどのように設定しているのか。子どもの将来がかかっていると保護者として話を聞きたいと思うし、自分の意見も吸い上げて欲しいという思いもある。出席率が上がるように保護者の要望などを聞いた方が良いのではないか。</p>
学務課長	<p>日吉小学校と宮本小学校では、令和3年度にも一度同じような懇談会を開催しており、対象世帯は若干変わるが、2回目の開催となる。この懇談会は、小規模校を対象としているが、統合前提に懇談会を開催しているわけではなく、あくまでも、今の教育環境について、保護者の皆さんがどのように考えているかというところを率直に聞く懇談会となっている。そういった意味で、低学年や未就学児の保護者の出席率が高い。2回目ということもあり、4年生以上の保護者は出席率が低くなっていることもある。今回は平日の夜7時から開催したが、前回も同じ時間帯で開催している。令和2年度は、土曜日の昼間に開催したところもあるが、いずれも、出席の世帯数が増えない状況である。今後も継続開催をするので、より多くの皆さんの意見が聞けるような日時を設定して開催したいと思っている。開催会場は、いずれも学校を</p>

委員	<p>会場に開催している。</p> <p>今の関委員からの質問だが、懇談会の前に教育環境に関するアンケートを実施しており、突然集まってくださいというわけではない。そのアンケートの回答率が88.2%で、統合希望が80%ということで、一度、段階を踏んでから懇談会を実施している。そこで、自分の意見を書いたり、納得された方は、もしかすると欠席されて出席率が下がったのかもしれないと思う。</p>
学務課長	<p>今、橋本委員が言われた88.2%や80%というのは、大積小での状況であり、令和3年度にすべての対象校において、保護者アンケートを行っている。その中の質問の一つに、「現状のまま複式学級を継続するのが良い」とか「統合を希望するか」というような設問があり、橋本委員が言われたのは、大積小において、回答率がそのぐらいあって、統合希望の方が80%ぐらいいたということでお話いただいた。他の対象校においても、令和3年度に同じように保護者アンケートを行っており、学校によって統合希望が多いところ、少ないところがある。統合が決まった上塩小や大積小においては、アンケートの段階で統合希望の方が8割をすでに超えていた。一方で統合が決まった下塩小は、令和3年度に保護者アンケートを行った時点では、それほど統合希望は多くはなかったが、その後の保護者での話合いの中で、統合した方がいいのではないかという話が徐々に進んでいって統合が決まった。今年度、保護者懇談会を開催した日吉小と宮本小では、令和3年度のアンケートの時点では、それほど統合希望は多くなく、そういった意味で、統合して欲しくないという気持ちの方も多いことから出席状況に影響があったのかもしれない。今後も継続して意見等を伺っていきたい。</p>
委員	<p>山本中学校区の桂小も小規模校の対象校となっている。保護者懇談会の流れと統合を決定する判断基準を教えてください。</p>
学務課長	<p>保護者懇談会の進め方は、教育委員会からの情報提供として、今後の児童数の推移や小規模校における教育環境のメリット・デメリットや課題、複式学級の学習の進め方や他の小規模校の動きなど、基本的な情報について説明させていただいた後、保護者と率直な意見交換をさせていただいているのが保護者懇談会の内容となる。令和3年度に開催した時は、対象校8校と当時まだ統合が決まっていなかった上塩小も含めた9校において、保護者アンケートもさせていただいた。令和4年度と5年度は特に行ってい</p>

	<p>ない。保護者と意見交換する中で、教育委員会が来た場では、統合に賛成、反対、決めかねているなど本心を言えないという方もいるため、その後保護者のみで何回か意見交換を重ね、統合した方がいいんじゃないかという意見がほぼ全員になった時に、保護者の意見は統合希望でまとまったということを教育委員会が連絡をもらい、その後、教育委員会も一緒になって地域の町内会長や区長、学校後援会の皆様に説明を重ね、反対の声なくなった時に、教育委員会が最終的に統合でいいでしょうかということ確認を取り決定をさせていただいている。その後、市議会の手続き等をとって最終決定ということになっている。</p>
委員	<p>2点聞きたい。1点目は小規模校の対象校に石坂小があり、宮内中学校区の小学校になる。私自身、宮内小学校区だが、石坂小が対象校として懇談会が行われるにあたり、委員として関わることはあるのか。</p>
学務課長	<p>基本的に懇談会は、石坂小学校区の保護者や地域の方々から意見を聞くことになる。石坂小は宮内中学校区ではあるが、晨原委員と小学校区は別になるため、具体的に統合に向けた話やその前段で晨原委員から関わっていただくようなことは特段ないと思っている。</p>
委員	<p>2点目は、通学区域審議会委員は、各地域のPTA関係者から選出されていると思っていたが、どのように選出されるのか。</p>
学務課長	<p>各中学校区ごとに選出するので、各中学校の校長に依頼し選出していただいている。各中学校区によってPTA会長を選出しているところや後援会の方や学校に関わりのある方々から選出していただいている。</p>
委員	<p>来年度の山古志小は1学級になる。懇談会の対象校として、近隣校との往来が比較的容易な平場の小学校となっているが、対象校からも外れ、山古志小の統合については後回しになっているのではないか。未就学児が3人しかいないのに何の意向調査もされていないことに疑問がある。合併時に、同じ市内であれば街中でも中山間地域でも同じサービスを受けられるという説明だったが、やはり中山間地域は後回しになっている様に感じている。また、南魚沼市や魚沼市の方で、すごく離れた集落の1、2人の子どもの登下校にタクシーを利用して1時間かけて通学している。長岡市はそういうことについてどう考えているか。</p>

教育部長	<p>教育委員会としては、この懇談会の方法以外に様々な動きをしている。まだ皆様に報告できるような状況ではないが、学校というのは、子どもたちを自立させるための教育施設であるとともに、地域の重要な核となる施設の一つであることは間違いない。我々としては、その両面を解決しなければいけないということで、他の地域や他の学校のことを調べながら進めている。さらに言うと、長岡市全体の問題にもなってくるが、合併をさせていただいたが、旧自治体の中にあった学校自体が無くなって、例えば2支所で学校を1校にするとなると、相当な地域住民の方との話し合いをしなければいけない事案だと思っている。非常にデリケートな問題なので、いくつもやり方を考えて、提案をさせていただきたい。そういった中で、山古志の小中学校の人数は、他よりも加速度的に減っているという状況であり、今、心配をいただいていることについては、この動きとは別途我々の方としても、地域の方や学校と打ち合わせを内々にさせていただいたり、関係する魚沼や湯沢の学校を参考にして、どういうやり方が良いか検討したいと思う。最後に指摘をいただいた、小学校1年生の段階で、バスに1時間乗って通学するということが、教育的に良いかどうかは、合わせて解決しなければいけない。我々としても、どういうふうなやり方がいいのか、最近流行りのDXのような形で集団でやらなくてよいものについては、IT技術を使ってというところも調査を始めている。そういった心配があればまたお聞かせいただいて、開示できる情報をなるべく早くお知らせする。或いは、いただいた意見を教育長や市長と共有して、次の一手を早く打つ方向に進めたいと思う。それと、高知県で中山間地域を活用した学校を参考に、長岡市の中山間地域の距離が非常に離れているところについては、別の解決策も検討しなければいけないと考えている。検討委員会を作って、どういうことをクリアすれば可能になるのかということや、それにかかる費用がどのくらいかということを昨年度にまとめており、長岡市の小中学校にどう生かせるかを内部で検証しているところ。それが、公表できるようになれば皆さんと共有させていただきたいと思っているので、もう少し時間をいただきたいと思います。心配をおかけして大変申し訳ないと思っている。</p>
委員	<p>事前の検討に山古志支所を入れていただきたいと思います。山古志支所に教育支援担当がいるが、何の話も聞いてないと言っていた。なぜ、絡んでいないのか。やはり、支所地域の話になるので、支所の教育支援担当に声をかけていただきたいと思います。支所地域の職員を巻</p>

学務課長	<p>き込んで検討していかないと進まないと思う。</p> <p>言われるとおりでと思うので、支所の教育支援担当の意見を聞いたり、現場の状況をよく聞きながら検討を進めていきたいと思う。</p>
委員	<p>通学区域とは別で、不登校やひきこもりの子どもたちに対して、DXの活用を検討していると思うが、その有効活用を進めていただくと子どもたちにとって、良い環境になるかと思うのでよろしくお願ひしたい。</p>
教育部長	<p>今日は学校教育担当職員が来ていないが、現在、国が進めている、1人1台端末があるので、該当児童・生徒にその方法が合っている場合は、教室の様子をリモートで見ながら授業を受けていただくようなこともスタートしている。引き続き、あらゆる可能性を追求していきたい。</p>
委員	<p>先日、南中の方から話を聞いたが、プールの授業を学校で行わず、プールのある民間施設を利用して、学校のプールを使わないと聞いた。子どもたちも減っている中、学校のプールを維持管理するのに相当なお金もかかるということから、そのような形が始まっていると思うが、情報があつたらお聞かせいただきたい。</p>
教育部長	<p>今日は、直接の担当課の職員がいないので私が替わってお答えする。長岡市では、学校のプールが老朽化して、修繕して使えるうちは使うというやり方で来ていたが、修繕するには、数千万から数億円ぐらいかかるというような状況が見えてきたところから、ダイエープールや各支所地域にあるB&Gのプール、民間のスポーツクラブのプールも既に使い始めて、そこで水泳の授業をするということをスタートしている。現在のプールの利用の実態は、6月、7月に12コマから17コマぐらいの利用以外はほとんど利用されていないということがわかっている。そこに年間の維持費を投入し、さらに修繕費をかけるということは、子どもたちが全体に少なくなる中で、施設整備もそれに合わせて、縮小する時期に来ている。縮小した部分を使って体育館にWi-Fiを入れたり、教室等に冷房を入れさせていただいている。現在の方針としては、民間のプールで、施設がしっかりしているところに移動をして授業をする方が効率が良いということを考えている。ただ、一律に全部の学校のプールをなくすという判断まではしていないので、各学校の状況を見ながら判断していきたい。</p>

委員	審議会の会議の今後の予定をお聞きしたい。
学務課長	<p>公立学校通学区域審議会は例年、3月ぐらいに年1回開催をさせていただいている。審議会の主な任務として、通学区域の変更等があれば、そこに意見をいただくというのが、一番大きな任務になっている。場合によっては年度末では、翌年度からの通学区域の変更には間に合わないこともあるので、開催時期が早まる場合もある。例えば令和4年度は、通学区域の変更が1件あったため、8月に開催させていただいた。時期については、3月と決まってるわけではないが、概ね、年1回開催している。もう1年任期があるので、引き続きよろしくお聞きしたい。</p>
委員	<p>山本中学校区の桂小で懇談会を行う際に、懇談会を行うとかアンケートを配布したとか担当委員に情報がくるのか。懇談会やアンケートについて手伝えることなどあるのか。</p>
学務課長	<p>山本中学校区では、桂小が保護者懇談会の対象校になっているが、今の時点で、次回、懇談会を行う日程というのは、まだ決まっていない。通学区域審議会の委員に、桂小で懇談会を開催するから出席してくださいという案内まではしていない。というのは、私どもは、子どもたちの教育に責任を持っているのは、保護者というふうに考えており、まずは保護者の率直な意見を聞かせいただくということを、一番の目的にしているのがこの懇談会になる。保護者の意見を聞いて、その中で、例えば統合を希望する方が大半になったという時に、次に地域の方に話をさせていただく際に、審議会の委員から保護者懇談会に出ていただくとか、そこで出た意見を地域の方に話していただくとか、そういった役割は今のところ特に予定はしていない。場合によっては、例えば桂小の校長から、「こんな会があった」とか、「こんな意見が出ました」というような話があるかもしれないが、特にその辺を校長にお願いしているわけでもない。審議会の委員としての任務というのは、まずこの審議会に出席していただき、この場で意見を言うていただくというのが、委員としての任務になる。その辺を理解いただきたいと思う。引き続きよろしくお聞きしたい。</p>
委員	<p>会議資料の中に、通学区域審議会規則があるが、第6条に「会議は委員長がこれを招集する。」となっている。実際にはこの会議の中で選任しており、ある意味で矛盾しているので、何らかの見直しをした方が良いのではないかと。</p>

青木学務課長	<p>言われるとおり、通学区域審議会規則の第6条には「会議は委員長がこれを招集する。」となっており、今日の会議も本来、委員長を決めてから招集するというのが流れかと思う。実態としては年1回の審議会というところで、委員の皆様からは、改選後初めての会で、まずは委員長を決めるということが必要になるので、今回の会議は事務局の方から招集をし、委員長を決めていただいた。委員の皆様の任期が2年ある中で、来年の会議については、委員長から招集するということになる。今日のところは事務局の招集ということで了承いただきたい。</p>
委員	<p>統合ということについては、これから学校に上がる保育園の保護者の方の心内を十分聞いてもらうことが、何より大事かと思う。私の経験上、上越市で統合の話があり、ずっと反対があったが、若い保護者たちが切々とこの先人数が減って、我が子がどういいう教育環境であるか非常に不安であるという生の声が出た。そこで何年もその地域を大事にされてきた地域の重鎮達も、やはり若いお父さんお母さんの声を聞くことによって、自分たちは学校は残して欲しいけれども、これから背負って立つ子どもたちを育てていく保護者の声を聞くことが、何よりも大事だから、自分たちはつらいけれど我慢する。若い人たちの考えで、これから新しい学校の仲間となってスタートするのだから、そこは希望を持って迎えたい。例えばここであれば、長岡市の子どもである。長岡市の子どもであれば、高校でまた仲間として一緒になることもできる。そういう意味で見たら、確かに寂しくはあるし辛いけれど、大事な前進というふうにとらえなくてはいけないということを私自身も感じている。時間はかかっても保護者の方のその真意を十分に聞いていただければありがたい。</p>
教育部長	<p>今年度から今の職にあるが、今年度当初から同じような意見をいただいている。自分の親族が学校の土地を寄付してそこから学校が始まり、自分たちとしては、地域の中でもこの学校を地域の宝として育ててきたが、若い人たちの子どもたちにかける思いを聞くと、若い人の意見を尊重しなければということになった。統合される学校の地域の皆さんが、最終的に諸手を挙げて賛成する状況ではないが、この不確定な将来を、地域としても、子供たちと一緒に乗り越えていくためということで、今までも理解をいただいている。今いただいた意見のとおり、今後も引き続き、地域の方の意見、若い子どもたちをこれから育てていく保護者の方の意見をしっかりと聞いていきたいと思う。</p>

委員長	<p>ここで学識経験者の委員から一言ずつ発言いただきたい。</p>
委員	<p>現在、学校の方で子どもたちと教育活動をしているが、私自身平成24年に佐渡市に赴任し、最後全校10人の学校を閉校した経験がある。先ほどの話のように、地域としては非常に残念だが、子どもたちの将来のことを考えると、その方向に進んでいこうということで、地域が一つになったような感じがした。他の所で話を聞くと行政主導で進めているところがあったが、長岡市はそうではなく、しっかりと保護者そして地域の声をきいて最終的に統合するという形をとっており、この進め方が本当に素晴らしいと思っている。今後も地域そして保護者の声を大事にして進めていただくようお願いしたい。閉校した学校の方と今でも繋がっているが、学校は無くなったが、社会教育的な地域の中でコミュニティを進めていくようなことが大事だという話を聞いたことある。ぜひ統合を進めていくと同時に、社会教育、コミュニティといったところをぜひ進めていただきたいと感じた。</p>
委員	<p>昨年度まで柏崎市の学校に勤めていた。柏崎市は小学校だけではなくて中学校も半分近くに統合するような案が示され、地域の中で大きな波紋や意見等をいただいているところに勤めていた。その中で感じたのは、新聞等でも大きく取り上げられていたが、地域や保護者に丁寧寄り添っていかないといけないということと、広域な統合を考えていたので、その子どもたちの通学の安全安心等をどのように担保していくのかということが職員の中でも大分話題になっていた。今ほど話を聞いてる中で、地域や保護者の方からの熱い思いが、学校へ寄せられているということを感じた。今回初めて参加させていただいたが、保護者や地域の皆さんの期待に応えられるように、学校の方も努力して子どもたちを育てていかなければいけないという思いを強くさせていただいた。</p>
委員長	<p>これで本日の議事について、終了させていただく。皆様の協力で、時間内に終了することができた。これ以降は事務局にお返しする。</p>
学務課長補佐	<p>5 閉 会 本日はお忙しい中お集まりいただき、貴重な意見をいただきました。閉会にあたり、青木学務課長から挨拶を申し上げます。</p>

<p>学務課長</p> <p>学務課長補佐</p>	<p>6 閉会あいさつ</p> <p>これにて令和5年度長岡市公立学校通学区域審議会の方を閉会させていただきます。誠にありがとうございました。</p>
<p>9 会議資料</p>	<p>別添のとおり</p>